

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																		
大阪ビューティーアート専門学校	平成15年4月1日	徳 幸道	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-8-29 (電話) 06-6300-5514																		
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																		
学校法人三幸学園	昭和60年3月8日	昼間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641																		
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																	
衛生	衛生専門課程	トータルビューティー科	平成17年文部科学省告示第30号	-																	
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき美容業界の関連分野において、活躍する人材を育成する為、必要とされる知識・技能を教授することを目的とする。																				
認定年月日	平成28年2月19日																				
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技															
2年	昼間	62単位	66	304	2																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																
484人	356人	3人	45人	18人	63人																
学期制度	■1学期:4月 1日～9月28日 ■2学期:9月29日～3月31日		成績評価																		
長期休み	■学年始: 4月 1日～4月10日 ■夏季: 7月22日～8月31日 ■冬季:12月23日～1月 8日 ■学年末: 3月21日～3月31日		卒業・進級条件																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・三者面談・校内カウンセリング		課外活動																		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 美容室・アイラッシュ・ブライダル・フォトスタジオ等の美容業界		主な学修成果(資格・検定等)※3																		
	■就職指導内容 希望サロン斡旋・履歴書添削・面接練習																				
■卒業生数 142 人 ■就職希望者数 114 人 ■就職者数 114 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 80.3 % ■その他 ・進学者数: 0人		<table border="1"> <tr> <td>資格・検定名</td> <td>種</td> <td>受験者数</td> <td>合格者数</td> </tr> <tr> <td>AEA上級認定エステティシャン資格</td> <td>③</td> <td>36人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>サービス接遇検定3級</td> <td>③</td> <td>161人</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラーコーディネーター検定レベル2</td> <td>③</td> <td>146人</td> <td>143人</td> </tr> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	AEA上級認定エステティシャン資格	③	36人	33人	サービス接遇検定3級	③	161人	101人	パーソナルカラーコーディネーター検定レベル2	③	146人	143人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																		
AEA上級認定エステティシャン資格	③	36人	33人																		
サービス接遇検定3級	③	161人	101人																		
パーソナルカラーコーディネーター検定レベル2	③	146人	143人																		
(平成 29 年度卒業生に関する平成30年5月1日 時点の情報)																					
中途退学の現状	■中途退学者 39 名 ■中退率 8.8 % 平成29年4月 1日時点において、在学者319名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者280名(平成30年3月31日卒業生を含む)		■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 経済的問題・進路変更等																		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度等 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 対象者0名																				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																				
当該学科のホームページURL	http://www.sanko.ac.jp/osaka-beauty/																				

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

<p>1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係</p>																						
<p>(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 美容業界との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や目標検定設定、授業方法の改善・工夫に生かす。 (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項 (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項 (3)教科書・教材の選定に関する事項 (4)その他、教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項 またサロン実習(美容室等)を通じ、美容業界現場で実践的な技術を習得するとともに、業界の動向や求められる人材を把握するため、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容シラバスやカリキュラムに反映する。また実務能力レベルを計る資格・検定取得に向けても取得率の向上に向けて学習指導方法の見直し、改善に努めることも目的としている。さらに実習先である美容業界に対し、アンケート等を実施することにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことにより得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。</p>																						
<p>(2)教育課程編成委員会等の位置付け 教育課程編成委員会構成員は、大阪ビューティーアート専門学校と企業関係者等の役員者から成るものとし、審議を通じて示された施設等の要請その他の情報・意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成を協力して行うものと位置付けている。 【教育課程編成の基本方針決め・前年の問題点抽出】 本学のカリキュラム、取り組み、人材育成像など共有を行わせていただいた上、美容業界における必要な人材についてお話を頂いた。その人材育成に向けての専攻分野に関した動向や新たに必要となる人材スキル等の業界の実情をヒヤリングし、委員会で協議をし、次年度の教育課程編成の基本方針を決める。さらに、前年度の問題点をピックアップし、業界の外部委員からの見識のある改善意見も集約する。 ↓ 【教育課程編成の科目詳細決め】 委員会構成員の中の大阪ビューティーアート専門学校教員によって、各科目の詳細を決定し、また、集約した改善意見も教育課程に反映させ、次年度の教育課程の仮案を完成させる。 ↓ 【BA委員会(各ビューティーアート専門学校代表教員による分野会議)にて教育課程編成の決定】 委員会構成員の中の大阪ビューティーアート専門学校教員による教育課程の仮案に基づいて、再度、BA委員会で協議をし、次年度の教育課程を決定する。</p>																						
<p>(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿</p> <p style="text-align: right;">平成30年10月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川島 健</td> <td>社団法人 一生美容に恋する会</td> <td>平成30年4月1日～平成32年3月31日</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>松原 進</td> <td>モリオ・フロム・ロンドン</td> <td>平成30年4月1日～平成32年3月31日</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>森崎 成騎</td> <td>JOB SHOP 合同会社</td> <td>平成30年4月1日～平成32年3月31日</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>細野 洋明</td> <td>学校法人 三幸学園 大阪ビューティーアート専門学校</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員</p>			名前	所属	任期	種別	川島 健	社団法人 一生美容に恋する会	平成30年4月1日～平成32年3月31日	①	松原 進	モリオ・フロム・ロンドン	平成30年4月1日～平成32年3月31日	③	森崎 成騎	JOB SHOP 合同会社	平成30年4月1日～平成32年3月31日	③	細野 洋明	学校法人 三幸学園 大阪ビューティーアート専門学校		
名前	所属	任期	種別																			
川島 健	社団法人 一生美容に恋する会	平成30年4月1日～平成32年3月31日	①																			
松原 進	モリオ・フロム・ロンドン	平成30年4月1日～平成32年3月31日	③																			
森崎 成騎	JOB SHOP 合同会社	平成30年4月1日～平成32年3月31日	③																			
細野 洋明	学校法人 三幸学園 大阪ビューティーアート専門学校																					
<p>(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 毎年、年2回実施するものとする。ただし、委員が緊急に教育過程の改善が必要であると判断した場合には、随時、委員会開催を申し入れる事ができると言った弾力的な体制を取っている。 (開催日時) 第1回 平成30年6月26日 16:00～17:30 第2回 平成31年1月予定</p>																						
<p>(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 美容の技術や知識はもちろんであるが接客に必要な基本的なマナーは、必ず身につけ卒業させてほしいとの要望を受け、挨拶の徹底・清掃、整理整頓に力を入れ指導にあたっている。</p>																						
<p>2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係</p>																						
<p>(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 基本方針として「お客様を美しくすることで感謝される」「サロン・組織を活性化できる人材を育成する」という本校人材育成方針のもと美容室・ブライダル業界等との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実践していくこと。 美容・ブライダル業界においては技術力と接客力が重要であるということは不変のものであり、双方を兼ね備えることで長く業界で活躍することで、業界の発展にも繋がっていくことから、本校教育理念である「技能(知識・技術・理論)」と「心(人間教育・対人基礎力)」の調和のもとに授業計画から本校教員も参加し、「技術・理論の習得レベル」及び「マナー」・「コミュニケーション」など現場に即した内容を検討、そして定期的に授業の振り返りを行い継続的かつ改善工夫を実施している。 企業等と連携することで、より早く現場の変化や課題に対する対応及び教育への反映し、本校そして業界の求める「人材の育成」に貢献できると考える。</p>																						
<p>(2)実習・演習等における企業等との連携内容 1年次後期1週間(5日間)それまで学んだ知識・技術だけでなく業界の全体的な組織、機能及び接客マナーや技術を理解する事を目的に、予め実習を受諾いただいた企業において実施している。実習期間終了後は実習成績評価として「能力」「生活態度」「実習態度」の評価とフィードバックをいただくこととしている。また着付けを必修科目に入れ通年で実施。授業を通して美容業に欠かせない挨拶・マナー・言葉づかいなどの礼節並びに振る舞い・行動など所作を身につける。</p>																						
<p>(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>科目概要</th> <th>連携企業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設実習</td> <td>本校のカリキュラムの一環として協力。ビューティー業界において実習を通じて学校で学んだ知識の統括を行う。また現場における実践的な技術を習得するとともに、業界の動向や求められる知識レベルを把握することを主な目的とする。</td> <td>ピアスグループ クレディアワールド ド ワイド株式会社</td> </tr> </tbody> </table>			科目名	科目概要	連携企業等	施設実習	本校のカリキュラムの一環として協力。ビューティー業界において実習を通じて学校で学んだ知識の統括を行う。また現場における実践的な技術を習得するとともに、業界の動向や求められる知識レベルを把握することを主な目的とする。	ピアスグループ クレディアワールド ド ワイド株式会社														
科目名	科目概要	連携企業等																				
施設実習	本校のカリキュラムの一環として協力。ビューティー業界において実習を通じて学校で学んだ知識の統括を行う。また現場における実践的な技術を習得するとともに、業界の動向や求められる知識レベルを把握することを主な目的とする。	ピアスグループ クレディアワールド ド ワイド株式会社																				

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係				
<p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 実践的かつ専門的な職業教育を実施し、美容・ブライダル業界・教育業界を担う「素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献できる人材」・「お客様を美しくすることで感謝される。サロン・組織を活性化できる人材」を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、以下のとおり教員研修の環境を整える。 ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修 ・指導力の修得・向上のための研修 ・アクティブラーニングの手法を取り入れた教育方法の研修 なお、当該研修等を計画的に教員に受講させるにあたり諸規定に定められている。</p>				
(2) 研修等の実績				
①専攻分野における実務に関する研修等				
美容業界・ブライダル業界が求める人材像と必要される専門知識・資質を代表取締役や現場支配人の方々に講師ら迎え教員の授業力向上のための研修を実施している。				
平成30年6月26日	社団法人 一生美容に恋する会 川島 健	美容セミナー	実技教員	専攻分野に特化した進路指導セミナー
②指導力の修得・向上のための研修等				
「アクティブラーニング」授業風景を共有し更に積極的な授業への取り組み、能動的に学習する手法を学ぶ研修を実施する。				
平成30年8月22日	(株)LOYAL 村上 大悟	企業代表による講話	全教員	卒業後の起業に関するレクチャーおよび指導力向上セミナー
平成30年8月31日	(株)グローバルキャリア 的場 亮	人材教育・育成	全教員	学生をやる気にさせる指導方法・考え方
(3) 研修等の計画				
①専攻分野における実務に関する研修等				
平成30年12月20日	Hair Stylist 波多 晋	夢・目標を叶える力 メイクの仕事	全教員	諦めないことの大切さ 海外でのヘアメイクの仕事について
②指導力の修得・向上のための研修等				
平成31年4月2日	楠シンプルタスク 吉井 雅之	習慣形成と人材育成	全教員	教員のあるべき姿勢やあり方、関わり方について
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係				
(1) 学校関係者評価の基本方針				
「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供し学校・企業間の共通理解を深め、教員活動を活性化させ学校運営をより円滑化させる。また、学生の就職先・実習先として関連の深い企業の各関係者に、本学職業実践専門課程についての理解を深めてもらい、さらに連携・協力の推進に資するために、本学の教育活動・学校運営の状況・情報を積極的に提供する。そして、キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげることを基本方針とする。				
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応				
ガイドラインの評価項目		学校が設定する評価項目		
(1) 教育理念・目標		(1) 教育理念・目標		
(2) 学校運営		(2) 学校運営		
(3) 教育活動		(3) 教育活動		
(4) 学修成果		(4) 学修成果		
(5) 学生支援		(5) 学生支援		
(6) 教育環境		(6) 教育環境		
(7) 学生の受入れ募集		(7) 学生の受入れ募集		
(8) 財務		(8) 財務		
(9) 法令等の遵守		(9) 法令等の遵守		
(10) 社会貢献・地域貢献		(10) 社会貢献・地域貢献		
(11) 国際交流		(11) 国際交流		
※(10)及び(11)については任意記載。				

(3)学校関係者評価結果の活用状況
各項目ごとに話し合われた評価から改善点をあげ学校内外(授業・行事・サロン実習)での学生育成に役立てられる対策を考え
実行し改善をしていく。また改善に向けての対策や実施した結果を次回の学校関係者評価委員会で共有事項とする。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿 平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
藤原 弘呼	ステーションカンパニー株式会社	平成30年4月1日～平成32年3月31日	企業等委員
小峯 英樹	有限会社 ビーバス	平成30年4月1日～平成32年3月31日	企業等委員
高橋 美穂	飛鳥未来高等学校 大阪キャンパス	平成30年4月1日～平成32年3月31日	企業等委員
岡本 唯	TB科 エステコース6期	平成30年4月1日～平成32年3月31日	卒業生
村田 真利亚	HD科 美容科7期	平成30年4月1日～平成32年3月31日	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()
URL : <http://www.sanko.ac.jp/osaka-beauty/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供し学校・企業間の共通理解を深め、教員活動を活性化させ学校運営をより円滑化させる。また、学生の就職先・実習先として関連の深い企業の各関係者に、本学職業実践専門課程についての理解を深めてもらい、さらに連携・協力の推進に資するために、本学の教育活動・学校運営の状況・情報を積極的に提供する。そして、キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげることを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	●三幸学園について(事業案内、経営理念、歴史)
(2)各学科等の教育	●三幸学園の教育■学科・専攻紹介 ●資格・就職
(3)教職員	●講師紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	●病院実習 ●就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	●施設紹介 ●企業・地域コラボレーション
(6)学生の生活支援	●サポートシステム ●学生寮・一人暮らし
(7)学生納付金・修学支援	●募集学科・学費 ●学費サポート制度
(8)学校の財務	●監事監査報告書 ●資金収支計算書 ●消費支出計算書 ●貸借対照表 ●財
(9)学校評価	●自己点検自己評価・学校関係者評価委員報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
URL : <http://www.sanko.ac.jp/osaka-beauty/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネス マナー	検定取得を目指し、敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ授業です。	1年	66	4	○			○		○		
○			カラー コーディネート	ファッションコーディネートの現場で即戦力となるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に着けます。パーソナルカラーコーディネートの資格取得を目指します。	1年	66	4	○			○		○		
○			デッサン・ イラスト レーション	物の形をよく観察する力と洞察力を養うことでより深く芸術を理解できます。またデッサン力から応用することによりコミュニケーション能力を高めることが出来ます。	1年	32	2	○			○		○		
○			未来デザイン プログラム Ⅰ	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1年	33	2	○			○		○		
○			皮膚学Ⅰ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き	1年前期	32	2	○			○		○		
○			皮膚学Ⅱ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・肌の美しさを損ねる要因・様々な肌状態 ・肌と環境・肌分析	1年後期	34	2	○			○		○		
○			生理学Ⅰ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する ・骨格系・筋系・神経系	1年前期	32	2	○			○		○		
○			生理学Ⅱ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する ・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系 ・生殖系	1年後期	34	2	○			○		○		
○			栄養学Ⅰ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する・5大栄養素・栄養所要量 ・食物摂取とその消化吸収	1年前期	16	1	○			○		○		
合計				科目	単位時間(単位)										

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			化粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。・化粧品概論・ネイル、メイク、ヘアケア化粧品・フレグランス・化粧品の原料	1 年前期	16	1	○					○		
○			エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。・法の基礎知識・公衆衛生・衛生管理	1 年前期	16	1	○					○		
○			ベーシックエステⅠ	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。	1 年前期	64	4	△	○				○		
○			ベーシックネイルⅠ	JNECネイリスト技能検定3級取得を目指し、ネイルケア～カラーリング・アートまでのネイルの基礎を学ぶ	1 年前期	64	4	△	○				○		
○			ベーシックメイクⅠ	メイクアップ化粧品の特徴と適切な使用方法を理解すると同時に、スキンケア～メイクアップテクニックをマスターしフルメイク基礎技術を身に付ける。	1 年前期	64	4	△	○				○		
○			就職対策Ⅰ	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導します。	1 年前期	64	2	○					○		
	○		栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。・栄養学から見た食品・健康と栄養・サプリメント・食品添加物	1 年後期	17	1	○					○		
	○		化粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。・フェイシャル、ボディ化粧品・化粧品に用いられる薬剤とその働き	1 年後期	17	1	○					○		
	○		エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅱ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。・経済行為、人の身体に直接関連する法律	1 年後期	17	1	○					○		
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ベーシック エステⅡ	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。	1 年後 期	34	2	△	○		○	○			
	○		エステティック カウンセリ ングⅠ	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1 年後 期	17	1	○	△		○	○			
	○		プロ フェイシャル Ⅰ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける	1 年後 期	68	4	△	○		○	○			
	○		プロボディⅠ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける	1 年後 期	68	4	△	○		○	○			
	○		アロマ セラピー	アロマセラピーの基礎知識、トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学を学ぶ。・アロマセラピーのための健康学、メカニズム・法律問題・資格制度	1 年後 期	34	2	△	○		○	○			
	○		アロマ セラピーⅠ	アロマセラピーの基礎知識を学ぶ。 ・精油の基礎知識・プロフィール ・利用法・歴史・環境	1 年後 期	17	1	△	○		○	○			
	○		アロマ セラピーⅡ	アロマセラピーの基礎知識、トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学を学ぶ。・アロマセラピーのための健康学、メカニズム・法律問題・資格制度	1 年後 期	34	2	△	○		○	○			
	○		フェイシャル &ボディⅠ	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントを理解する。	1 年後 期	68	4	△	○		○	○			
	○		ベーシック ネイルⅡ	ベーシックネイルⅠに続き、JNECネイルリスト技能検定2級課題であるチップラップ(付け爪)の技術の基礎から応用までを学ぶ	1 年後 期	34	2	△	○		○	○			
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			スカルプチュア	JNECネイリスト技能検定1級の課題の一つとなっている、アクリル樹脂のパウダーとリキッドを使用した付け爪で、短い爪の長さを出す技術を学ぶ	1年後期	51	3	△	○		○	○			
○			ネイルケア&ネイルアートⅠ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す授業	1年後期	51	3	△	○		○	○			
○			検定対策Ⅰ	JNECネイリスト技能検定2～3級とJNAジェルネイル技能検定初級の取得を目指し技術強化していく授業	1年後期	51	3	△	○		○	○			
○			ジェルネイルⅠ	JNAジェルネイル技能検定初級の取得を含め、ジェルネイルについての技術・知識を学ぶ授業	1年後期	51	3	△	○		○	○			
○			コンテストⅠ	ネイルのコンペティションの出場を目指し、技術強化していく授業	1年後期	17	1		○		○	○			
○			サロンワークⅠ(ネイル)	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、サロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、実際にお客様をお呼びして施術を行っていく	1年後期	51	3		○		○	○			
○			ネイル演習	JNECネイリスト技能検定2～3級の取得を目指し技術強化していく授業	1年後期	68	4	△	○		○	○			
○			ベーシックメイクⅡ	資格取得の技術と知識を身に付け、顔分析力、パーソナルメイクアップテクニックを身に付ける。	1年後期	34	2	△	○		○	○			
○			ビューティーカウンセリング	メイク業界で仕事をしていくための基礎知識 各化粧品メーカーの分析、肌知識からのカウンセリングテクニック、接客技術	1年後期	34	2	△	○		○	○			
合計			科目		単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		検定メイク	資格取得のためのメイク基礎知識技術を身に付け、カウンセリングメイク応用技術を習得する。	1年後期	51	3	△	○		○	○			
	○		ヘアアレンジⅠ	頭部・骨格の名称, ブロッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	1年後期	68	4	△	○		○	○			
	○		ヘアアレンジⅢ	ヘア道具の特徴と適切な使用方法を理解すると同時に、ヘアアレンジの基礎～応用知識、技術を学び身に付ける。	1年後期	34	2	△	○		○	○			
	○		パーソナルメイクⅠ	顔の分析、カラー診断、イメージに合わせて演習	1年後期	51	3	△	○		○	○			
	○		パーソナルメイクⅡ	資格取得の技術と知識を身に付け、顔分析力、パーソナルメイクアップテクニックを身に付ける。	1年後期	34	2	△	○		○	○			
	○		ヘア&メイクⅠ	メイク検定アドバンスの対策を行い、撮影、ブライダル、アーティストと現場に必要な技術と知識を習得する	1年後期	51	3	△	○		○	○			
○			未来デザインプログラムⅡ	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	2年前期	16	1	○			○	○			
○			就職対策Ⅱ	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導します。	2年	33	2	○			○	○			
	○		着付けⅠ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得します。	2年	66	4	△	○		○		○		
合計			科目		単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー学科) 平成30年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
	○		着付けⅡ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得します。	2年	32	1	△	○		○			○		
	○		エステティックカウンセリングⅡ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身につける	2年	66	4	○	△		○		○			
	○		エステティックカウンセリングⅢ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身につける	2年	33	2	○	△		○		○			
	○		プロフェイシャルⅡ	フェイシャルテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得・コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニク・接客マナー	2年	198	12	△	○		○		○			
	○		プロフェイシャルⅢ	フェイシャルテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得・コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニク・接客マナー	2年	132	8	△	○		○		○			
	○		プロボディⅡ	ボディテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得・コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニク・接客マナー	2年	132	8	△	○		○		○			
	○		エステティック総論	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学	2年	66	4	○			○		○			
	○		エステティック総論Ⅰ	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学	2年	133	8	○			○		○			
	○		エステティック総論Ⅱ	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学	2年	66	4	○			○		○			
合計			科目		単位時間(単位)											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	期
		1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		トリートメント	選択科目の知識、技術を学ぶ ・WAX脱毛・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー	2年	99	6	△	○		○	○			
	○		フェイシャルマニピレーション	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニク技術、知識を深める	2年	132	8	△	○		○	○			
	○		フェイシャルスキンケア	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだフェイシャル機器の技術、知識を深める	2年	132	8	△	○		○	○			
	○		ボディベーシック	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニク技術、知識を深める	2年	132	8	△	○		○	○			
	○		ボディテクニカル	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだボディ機器の技術、知識を深める	2年	132	8	△	○		○	○			
	○		ボディリラクゼーション	応用トリートメント ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニク、知識を深める。体質別・トラブル別の施術を提案できるようになる	2年	66	4	△	○		○	○			
	○		サロンワーク（プロ）	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う	2年	99	6	△	○		○	○			
	○		サロンワーク（エステ）	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う	2年	66	4	△	○		○	○			
	○		アロマセラピー総論 I	エステティック知識総合（H専攻対応） ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化 ・機能・脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール	2年	99	6	○	△		○	○			
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
		1 学年の学期区分
	1 学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		アロマ セラピー総論 Ⅱ	エステティック知識総合 (TBコース対応) ・スキンタッチと効果・脳の誕生と進化 ・機能・脳神経の構造と働き ・心と肥満のかかわり・ハーブのプロフィール	2年	33	2	○	△		○		○		
	○		アロマ セラピー 検定対策Ⅰ	アロマセラピー検定対策 (H専攻対応) アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習	2年前期	16	1	○	△		○		○		
	○		アロマ セラピー 検定対策Ⅱ	アロマセラピー検定対策 (TBコース対応) アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習	2年	33	2	○	△		○		○		
	○		国際 エステティッ ク理論	選択科目の知識を学ぶ ・WAX脱毛・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェー ダー ・タラソセラピー・フラワーレメディ	2年後期	17	1	○			○		○		
	○		国際 エステティッ ク演習	選択科目の技術を学ぶ ・WAX脱毛・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェー ダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー	2年	132	8		○		○		○		
	○		フェイシャル &ボディⅡ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステ ティック機器の使用法・注意事項・禁忌 事項を学び、肌・体の状態に合ったトリ ートメントの理解を深める	2年	132	8	△	○		○		○		
	○		ネイルケア & ネイルアート Ⅱ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケ アとネイルアートの技術向上を目指す授業	2年	99	6	△	○		○		○		
	○		検定対策Ⅱ	JNECネイリスト技能検定2～1級とJNAジェ ルネイル技能検定中級～上級の取得を 目指し技術強化していく授業	2年	132	8	△	○		○		○		
	○		ジェルネイル Ⅱ	JNAジェルネイル技能検定中級～上級の取得 を含め、ジェルネイルについての技術・知 識を学ぶ授業	2年	132	8	△	○		○		○		
合計				科目	単位時間(単位)										

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		コンテストⅡ	ネイルのコンペティションの出場を目指し、技術強化していく授業	2年	66	4		○		○			○	
	○		ネイルケア	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケア(ハンド・フットの両方)の技術向上を目指す授業	2年	99	6	△	○		○				
	○		ネイルアートⅡ	フラットアート・3Dアートやエアブラシなど基礎的なアートから高度なアート技術までの全てを学ぶ	2年	99	6	△	○		○				
	○		サロンワークⅡ(ネイル)	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、サロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、実際にお客様をお呼びして施術を行い、マシーン技術なども学んでいく	2年	99	6		○		○			○	
	○		検定対策&ジェル	JNECネイリスト技能検定2級とJNAジェルネイル技能検定初級の取得を目指す技術強化していく授業	2年	132	8	△	○		○				
	○		ヘアアレンジ	ヘアアレンジに必要な道具の使い方から、アップスタイル・ダウンスタイルや、着物・ドレス・袴など服装に合わせたアレンジなど幅広く対応できるテクニックを身に着ける。	2年	66	4	△	○		○				
	○		ヘアアレンジⅡ	頭部・骨格の名称、ブロッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	2年	99	6	△	○		○				
	○		ビューティーカウンセラーメイク	幅広いメイクアップの技術とや肌の知識、カウンセリング方法等、ビューティーカウンセラーになる為の知識や技術を学ぶ。	2年	132	8	△	○		○				
	○		ブライダルメイク	様々なドレスや季節に合ったメイク、列席者のメイクを学ぶ。その他、ブライダルの歴史等幅広く習得できる。	2年	99	6	△	○		○				
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		特殊メイク	特殊メイク（傷・アザ・火傷・切断）・アニマルメイク・ボディジュエリーなど、エアブラシや様々な道具を使用し、撮影や現場で実践できる多様な技術を学びます。	2年	99	6		○		○				
	○		アーティストメイク	ショーメイクからスチールメイク、年代別メイクまで、シーンに合わせたメイクの研究や違い、特徴をとらえた技術を学びます	2年	99	6		○		○				
	○		フォト	光と影、写真のバランスについての撮影練習から、ライト・ストロボの関係性を実習を通して学んでいきます	2年前期	16	1		○		○				
	○		ファッション	メイクとファッションの関係性からファッショントレンドを研究し、メイクデッサンや表現方法を学びます	2年後期	17	1	△	○		○				
	○		ヘア&メイクⅡ	洋装・和装を含めたシーン別のヘアスタイルが作れ、提案できる技術を習得する。現場をふまえ、お互いに相モデルで技術を行う	2年	132	8	△	○		○				
	○		トータルメイク	メイク検定アドバンスの対策を行い、撮影、ブライダル、アーティストと現場に必要な技術と知識を習得する	2年	99	6	△	○		○				
	○		サロンワーク(メイク)	卒業後のサロンワークを想定し集客接客などを含めサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び実際にお客様をお呼びして施術を行っている	2年	132	8	△	○		○				
	○		サロンワーク(トータル)	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、サロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、実際にお客様をお呼びして施術を行い、マシン技術なども学んでいく	2年	66	4	△	○		○				
	○		施設実習	現場での実習勤務を通して、1日及び1週間の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく		80	2			○	○		○	○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	期
		1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（衛生専門課程トータルビューティー学科）平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		サロンワーク (トータル)	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、サロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、実際にお客様をお呼びして施術を行い、マシーン技術なども学んでいく	2年	66	4	△	○		○	○	○		
	○		施設実習	現場での実習勤務を通して、1日及び1週間の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく		80	2			○	○	○	○		○
		○	教養・文化の学習A	社会に出るにあたり、自らに必要な技術知識の習得や文化学習を行う (美容・健康・食・福祉・書など)	1年前期	20	1	△	○		○		○		
		○	教養・文化の学習B	社会に出るにあたり、自らに必要な技術知識の習得や文化学習を行う (美容・健康・食・福祉・書など)	1年後期	20	1	△	○		○		○		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>【履修方法】</p> <p>●講義及び演習科目については15時間から30時間の授業をもって1単位とする。実習及び実技科目については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。各科目授業内テスト（実技科目の評価方法は実技・筆記テストを原則実施）の100点満点での素点からの5点法による評定とし、「2」以上でその科目の履修と見なす。</p> <p>【進級・卒業要件】</p> <p>●授業科目の履修を終了した者には、認定のうえ単位を与える。単位の認定については、各科目における試験及び演習・実習の評価によるものとする。単位制学科の卒業認定に必要な単位数は62単位とする。</p>	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	前期16週 後期17週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。